

- ・ **新型コロナウイルス感染症**の報告が37例(男性17例(20歳代1例, 30歳代2例, 40歳代2例, 50歳代2例, 60歳代5例, 70歳代3例, 80歳代1例, 90歳代1例), 女性20例(20歳代1例, 30歳代5例, 50歳代2例, 60歳代3例, 70歳代2例, 80歳代3例, 90歳代4例))あり, 本年の累積報告数は3,088例になりました。

○新型コロナウイルス感染症 最新の動向

<https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000268303.html>

- ・ **インフルエンザ**は市内69の定点医療機関から1例の報告があり, 定点当たり報告数は0.01(全国:0.01)でした。京都市・全国とも, 例年に比べて非常に少ない報告となっています。
- ・ **RSウイルス感染症**は, 京都市では前週に続き報告がありませんでしたが, 全国の定点当たり報告数は, 本年第1週以降徐々に増加しており, 今週は0.41で過去5年平均値を上回りました。現在, 九州地方で比較的多く報告されています。京都市では流行の兆候はありませんが, マスク着用や咳エチケット, 手洗い等の基本的な予防策を心掛けましょう。
- ・ **小児科定点把握感染症**の推移は, 前週までと大きな変化はなく, 京都市で流行の兆候の見られる感染症はありません。

◆ 今週のトピックス: <新型コロナウイルス感染症>

京都市の第8週の新型コロナウイルス感染症の患者数は37例の報告がありました。1週間当たりの患者数としては, 第3週の636例をピークに5週連続して減少し, ピーク時の20分の1まで減少しました。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- ・ 二類:結核 3例(肺結核 1例, その他結核 1例, 潜在性結核感染者 1例)うち喀痰塗抹陽性 なし)
【1月以降の累積報告数 27例(肺結核 12例, その他結核 11例, 潜在性結核感染者 4例)うち喀痰塗抹陽性 5例】
- ・ **新型コロナウイルス感染症 37例**【1月以降の累積報告数 3,088例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点43, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	0. 01	1
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	2. 63	113
	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0. 42	18
	③ 突発性発しん	0. 23	10
	④ 水痘	0. 12	5
	⑤ 咽頭結膜熱	0. 05	2
	⑤ 手足口病	0. 05	2
	⑤ ヘルパンギーナ	0. 05	2
眼科	流行性角結膜炎	0. 00	0

【次ページ以降の主な内容】

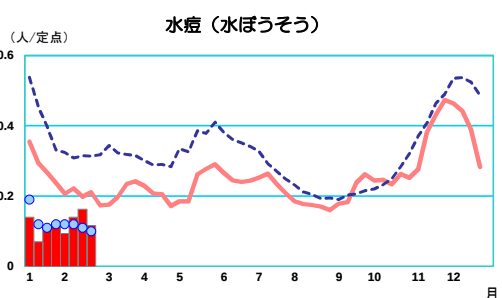
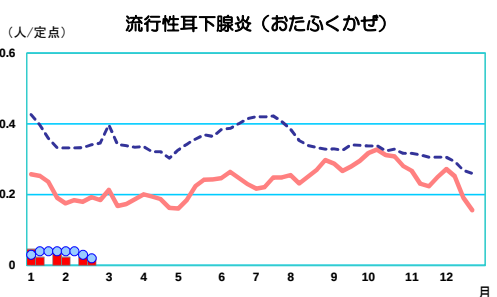
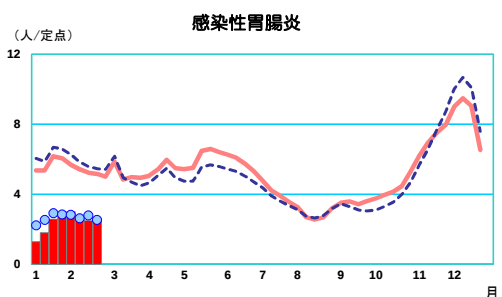
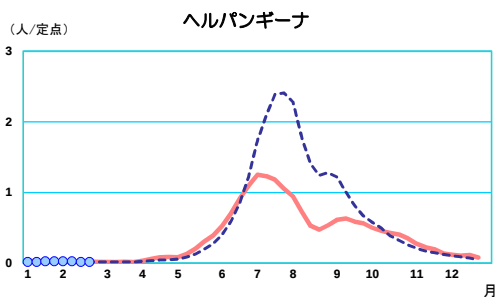
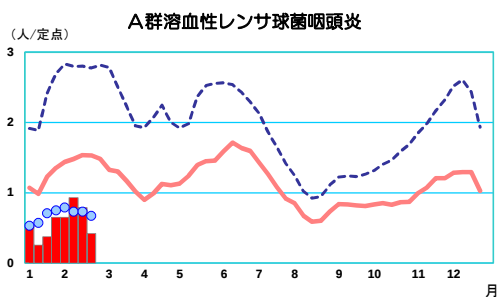
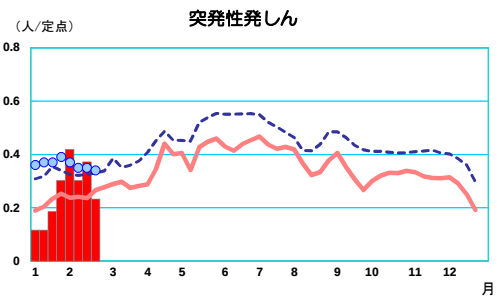
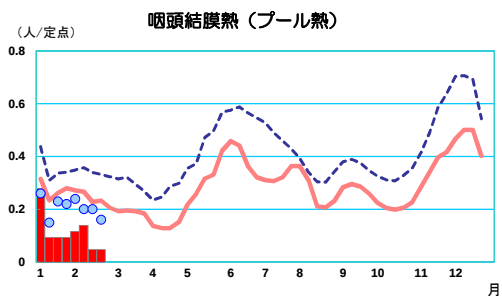
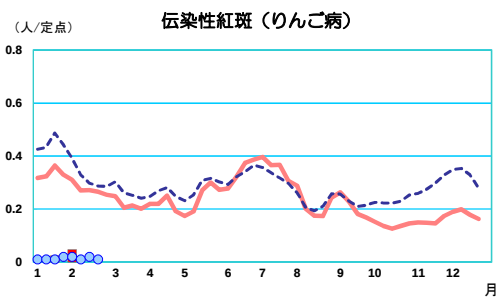
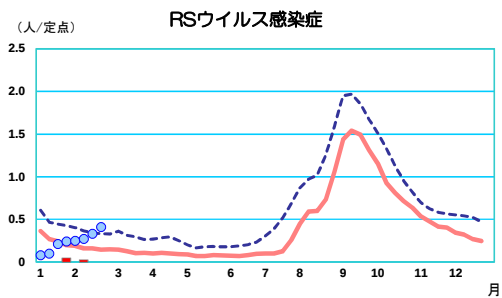
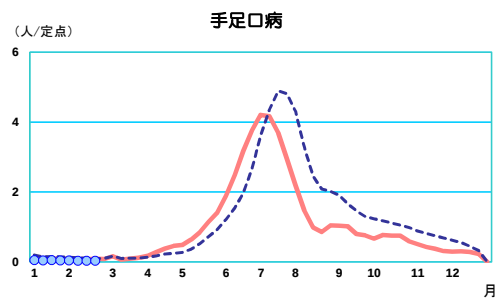
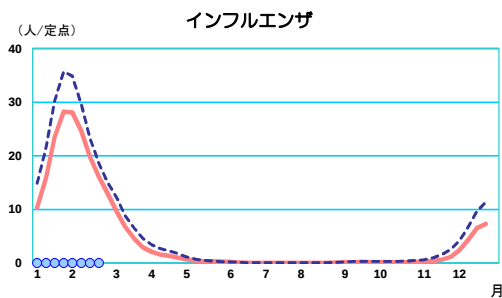
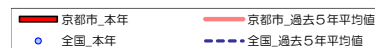
発生状況の概況グラフ / 発生状況地図 / 今週のトピックス: <新型コロナウイルス感染症>
付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注) 京都市のデータは, 2021年3月3日現在の報告数で, 全国の還元データと若干異なる場合があります。

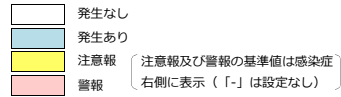
また, 本情報での患者数は, 届出医療機関所在地での集計で, 患者の住所を示すものではありません。

* 感染地域及び感染経路については推定を含みます。

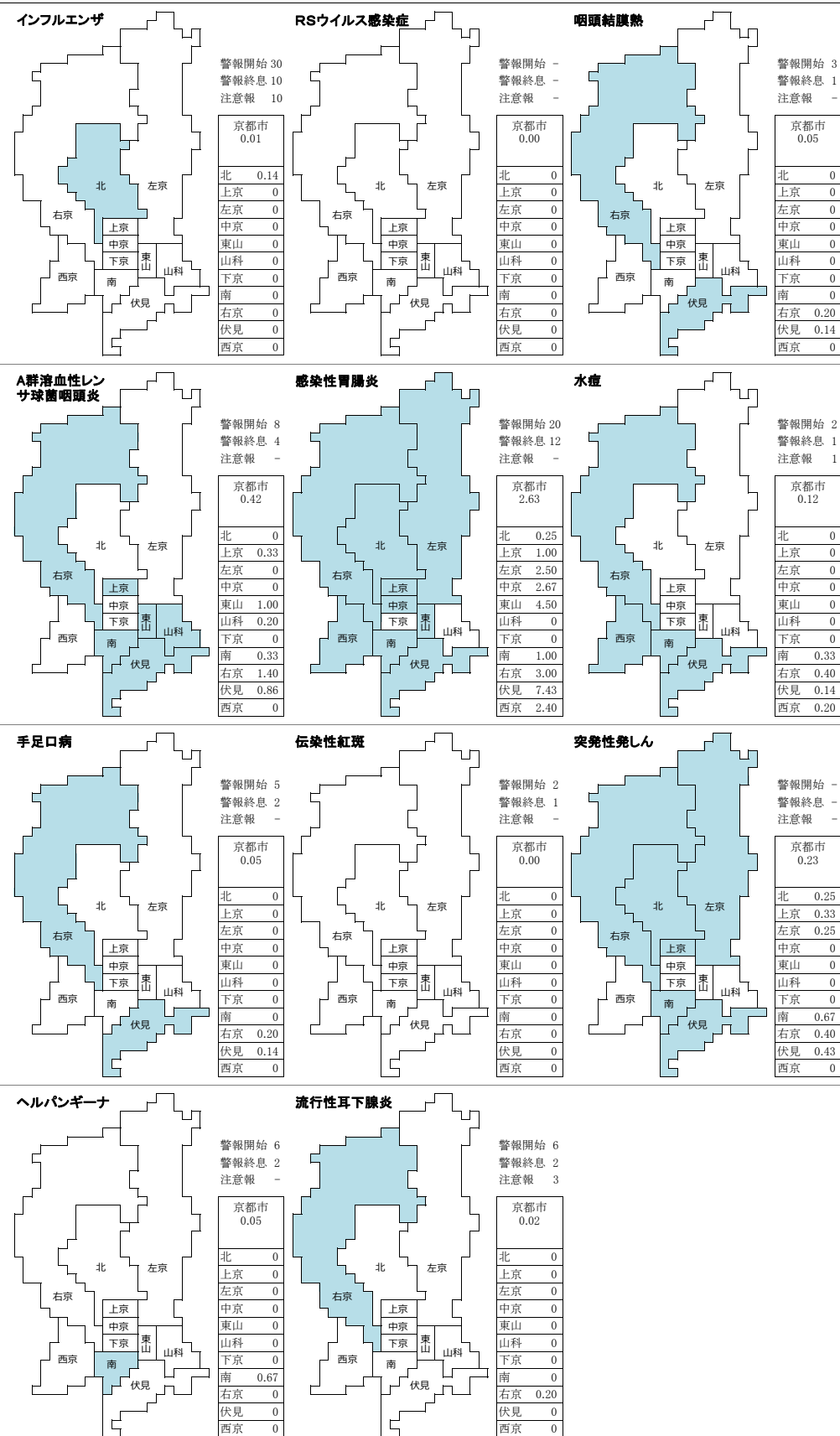
インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（2021年）



インフルエンザ及び小児感染症の発生状況地図【2021年 第8週】



※定点医療機関の所在地に基づいた集計結果となっています。
したがって、定点当たり報告数は医療機関の「立地条件」や
「規模の大小の影響を受ける場合がありますので、ご注意ください。

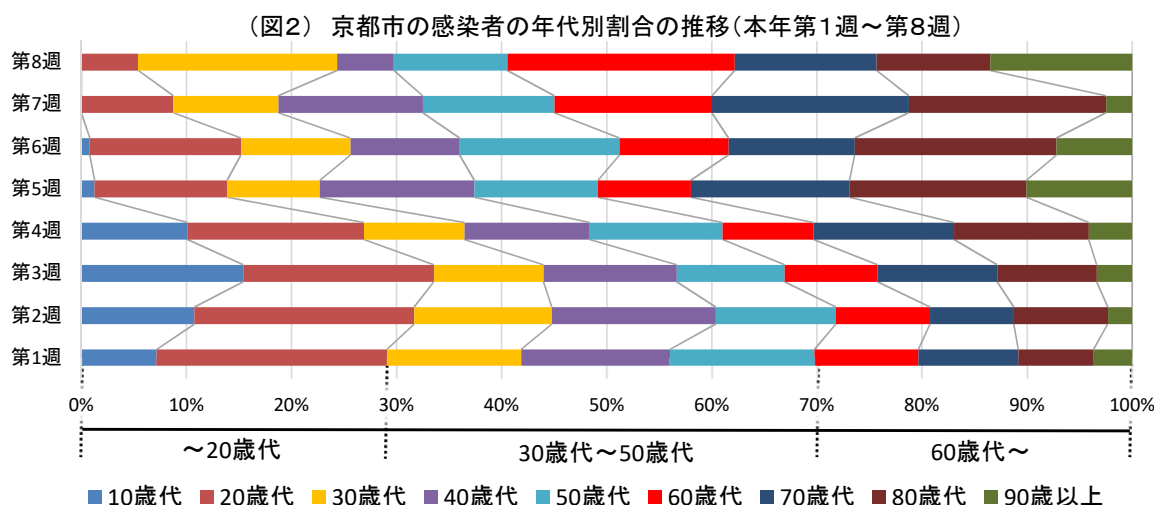
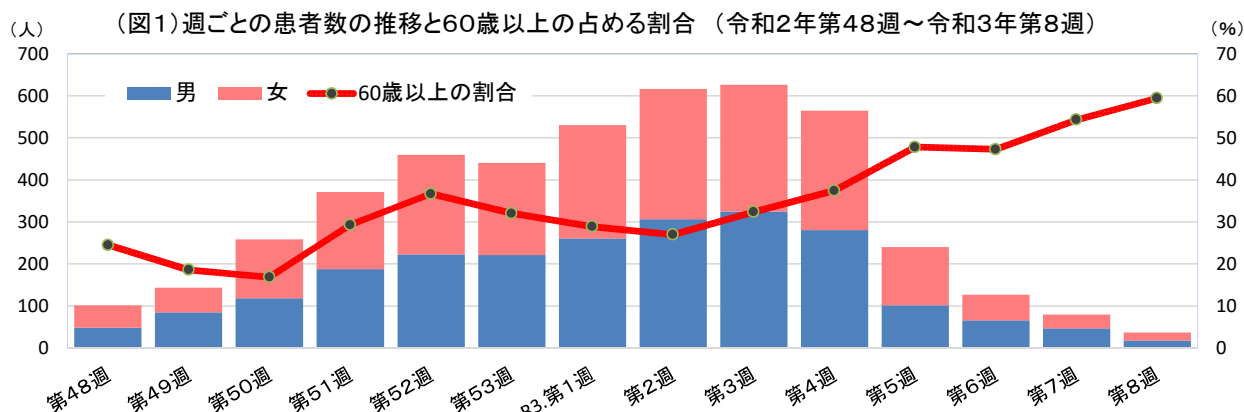


第8週(2月22日～2月28日)トピックス: <新型コロナウイルス感染症>

京都市の第8週の新型コロナウイルス感染症の患者数は37例の報告がありました。1週間当たりの患者数としては、第3週の636例をピークに5週連続して減少し、ピーク時の20分の1まで減少しました。感染者の性別割合に大きな変化はありません(図1)。

報告数減少の一方で、60歳以上感染者の占める割合が徐々に増えており、第8週では60%となっています(図1)。

年齢層の詳細について、第1週から第8週の年代別割合の推移を見ると、60歳以上の年代層では、各年代で徐々に増加し、60歳以上の割合としては、第1週に比べ第8週では約2倍になっています。他の年代層は、30歳代から50歳代を合わせた割合には大きな変化はなく、10歳代と20歳代の割合は減少しています。中でも10歳代については第7週、8週と2週続けて報告がありません(図2)。つまり、報告数は減少してきていますが、年齢が高いほど、減少の速度が遅くなっています。特に高齢者では、感染すると重篤化するリスクが高いことが報告されており、今後も発生動向に十分な注意が必要です。



京都府では緊急事態解除を踏まえ、1月12日に決定した新型コロナウイルス特別措置法に基づく緊急事態措置を、2月28日をもって解除しましたが、「新しいステージにおける感染再拡大防止対策」として3月1日から3月14日までの間、「外出の自粛」「飲食店等への営業時間短縮要請」「催物(イベント)の開催」「職場への出勤等」について新たな要請が発出されています(下記URL参照)。加えて今後も「かからない」「うつさない」ために以下の感染予防対策を励行しましょう。

- 手洗いが重要です。外出先から帰宅時や調理の前後、食事の前などにこまめに石けんと流水で手を洗いましょう。
- 飛沫を抑制するためにもマスクを着用しましょう。
- 人との距離の適切な確保、人混み避けるなどの「三密を避ける」基本的な習慣や行動が感染予防に最も重要です。

□緊急事態から次のステージへの移行(京都府ホームページ)

https://www.pref.kyoto.jp/kikikanri/news/corona_210226taiou.html

□京都市では、新型コロナウイルス感染症の最新の動向を提供しています。

<https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000268303.html>



京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2021年第8週

年齢階級, 疾病別報告数

2021年2月22日～2021年2月28日

データ入手日:2021年3月3日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳～	15歳～	20歳～	30歳～	40歳～	50歳～	60歳～	70歳～	80歳以上
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳～	15歳～	20歳～	30歳～	40歳～	50歳～	60歳～	70歳以上	
男女合計	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳～	15歳～	20歳以上						
	年齢4	総数	0歳	1歳～	5歳～	10歳～	15歳～	20歳～	25歳～	30歳～	35歳～	40歳～	45歳～	50歳～	55歳～	60歳～	65歳～	70歳以上				
インフルエンザ (※1)	年齢1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
咽 頭 結 膜 熱		2	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		18	-	-	1	3	2	-	2	5	2	-	-	3	-	-						
感染性胃腸炎		113	1	4	28	17	9	6	6	10	1	5	2	10	2	12						
水 痘		5	-	-	-	-	-	1	-	2	-	1	1	-	-	-						
手 足 口 病		2	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
伝 染 性 紅 斑		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
突発性発しん		10	-	3	5	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
ヘルパンギーナ		2	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
流行性耳下腺炎		1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-						
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎 (※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳～	15歳～	20歳～	30歳～	40歳～	50歳～	60歳～	70歳～	80歳以上
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳～	15歳～	20歳～	30歳～	40歳～	50歳～	60歳～	70歳以上	
男女合計	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳～	15歳～	20歳以上						
	年齢4	総数	0歳	1歳～	5歳～	10歳～	15歳～	20歳～	25歳～	30歳～	35歳～	40歳～	45歳～	50歳～	55歳～	60歳～	65歳～	70歳以上				
インフルエンザ (※1)	年齢1	0.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.01	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
咽 頭 結 膜 熱		0.05	-	-	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.42	-	-	0.02	0.07	0.05	-	0.05	0.12	0.05	-	-	0.07	-	-						
感染性胃腸炎		2.63	0.02	0.09	0.65	0.40	0.21	0.14	0.14	0.23	0.02	0.12	0.05	0.23	0.05	0.28						
水 痘		0.12	-	-	-	-	-	0.02	-	0.05	-	0.02	0.02	-	-	-						
手 足 口 病		0.05	-	-	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
伝 染 性 紅 斑		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
突発性発しん		0.23	-	0.07	0.12	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
ヘルパンギーナ		0.05	-	-	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
流行性耳下腺炎		0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.02	-	-						
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎 (※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2021年第8週

週, 疾病別報告数

データ入手日:2021年3月3日

京都市	男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)		－	2	1	－	1	1
RSウイルス感染症		－	2	－	1	－	－
咽 頭 結 膜 熱		4	4	5	6	2	2
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		16	28	28	40	34	18
感染性胃腸炎		111	126	129	116	107	113
水 痘		5	5	4	6	7	5
手 足 口 病		2	1	3	1	－	2
伝 染 性 紅 斑		1	－	2	－	－	－
突発性発しん		8	13	18	13	16	10
ヘルパンギーナ		2	1	1	2	2	2
流行性耳下腺炎		－	2	1	－	1	1
急性出血性結膜炎		－	－	－	－	－	－
流行性角結膜炎		3	－	－	－	－	－
細菌性髄膜炎 (※2)		－	－	－	－	－	－
無菌性髄膜炎		－	－	－	－	－	－
マイコプラズマ肺炎		－	－	－	－	－	－
クラミジア肺炎 (※3)		－	－	－	－	－	－
感染性胃腸炎 (※4)		－	－	－	－	－	－
合 計		152	184	192	185	170	154

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市	男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)		－	0.03	0.01	－	0.01	0.01
RSウイルス感染症		－	0.05	－	0.02	－	－
咽 頭 結 膜 熱		0.09	0.09	0.12	0.14	0.05	0.05
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.37	0.65	0.65	0.93	0.79	0.42
感染性胃腸炎		2.58	2.93	3.00	2.70	2.49	2.63
水 痘		0.12	0.12	0.09	0.14	0.16	0.12
手 足 口 病		0.05	0.02	0.07	0.02	－	0.05
伝 染 性 紅 斑		0.02	－	0.05	－	－	－
突発性発しん		0.19	0.30	0.42	0.30	0.37	0.23
ヘルパンギーナ		0.05	0.02	0.02	0.05	0.05	0.05
流行性耳下腺炎		－	0.05	0.02	－	0.02	0.02
急性出血性結膜炎		－	－	－	－	－	－
流行性角結膜炎		0.30	－	－	－	－	－
細菌性髄膜炎 (※2)		－	－	－	－	－	－
無菌性髄膜炎		－	－	－	－	－	－
マイコプラズマ肺炎		－	－	－	－	－	－
クラミジア肺炎 (※3)		－	－	－	－	－	－
感染性胃腸炎 (※4)		－	－	－	－	－	－
合 計		3.77	4.26	4.46	4.30	3.94	3.57

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。